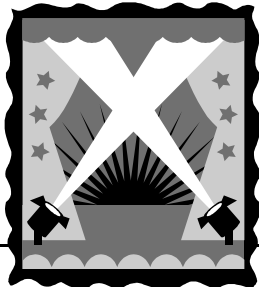
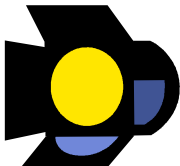


科目名	演劇体験Ⅰ			教科名	演劇		系	芸術アーツ	
種 別			自由選択	単位数	2	開講学期	通年		
教科書	なし			副教材	なし				
履修条件(履修順序)		特になし							
履修上の注意事項		演劇を体験したことのない人向き。運動できる服装に着替えて参加すること。 授業への参加態度を重視。なお、授業時間外となるが、発表会は全員参加のこと。							
学習の目標		発声・身体表現による集団創作をおこなうことで、自分を表現する喜び・仲間と創り上げる喜びを体験し、コミュニケーション能力を高める。							

【学習内容】

《前期》 ・ 1年間の授業の進め方について ・ 発声、開放から信頼・関係性・伝達・身体表現に至るシアターゲーム ・ インプロビゼーション、エチュード（即興による練習） ・ 舞台の基礎知識 ・ 前期授業発表へ向けての練習（演劇脚本を用いない発表） ・ 前期授業発表（文化祭・学校説明会）と振り返り		
《後期》 	・ 発声、シアターゲームの発展 ・ インプロビゼーション、エチュードの発展 ・ 後期授業発表に向けての練習（演劇脚本を用いた発表） 読み合わせ、半立ち稽古、立ち稽古、通し稽古、 音響・照明・装置打ち合わせ、リハーサル ・ 後期授業発表（校内公演） ・ 1年間の感想とまとめ	

【評価規準】

内容のまとめ	①関心・意欲・態度	②自己理解	③他者理解	④共有
シアターゲーム・インプロビゼーション・エチュード	・ 自分から積極的にワークショップに参加しようとする意志を持っている。	・ 自分のイメージを持って、声と身体を使った表現できる。 	・ 他者の表現を大切に受け取ろうとしている。 ・ その場の状況、空気、間に応じて行動できる	・ 協働して表現をしている。 
授業発表に向けての練習	・ 集団創作に積極的に関わろうとする意志を持っている。 	・ 集団の中で自分は何ができるか、何をすべきかを考えている。 ・ 観客によりよく伝える工夫を意識している。	・ 他者の表現を活かすことを考えて行動している。 ・ 自分と他者の、声と身体が効果的に表現されるための行動が取れる。	・ 集団で創作するときの、自分の責任の重要性を理解している。 ・ 自分の意見と他者の意見の違いについて、よく話し合おうとしている。

【学習評価】

評価にあたって、◎は重視する項目、○は参考にする項目

評価対象\観点	①	②	③	④	具体的な評価方法
学習状況（含む発表）	◎	◎	◎	◎	取り組み状況・出席状況など
課題レポート	◎	◎	◎	◎	レポート提出・内容読み取りなど